

益田市の社協だより

Vol.267
2022年10月号

はあていり

 この広報誌には、赤い羽根共同募金の配分金が使われています。



子育ては 地域のひとたちと一緒に

美都 老人クラブ合歓の会 地域交流活動（詳しくは7ページの記事をご覧ください）

益田市社会福祉協議会

本 所 〒698-0036 益田市須子町3-1 TEL: 22-7256 FAX: 23-4177
美都支所 TEL: 52-2392 FAX: 52-2716 / 匹見支所 TEL: 56-0374 FAX: 56-0387

ますだボランティア情報 No.55



ユニバーサルスポーツを 楽しもう！！

『ユニバーサルスポーツ』とは年齢や国籍、障がいの有無に関わらず、皆が一緒に楽しむことができるスポーツのことを言います。
東京パラリンピックでもボッチャという競技で杉村選手が神業を連発していたのを覚えておられる方も多いと思います。

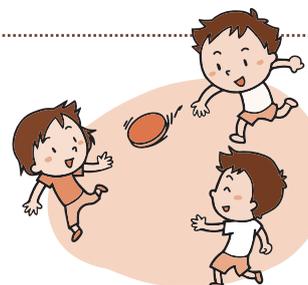
ユニバーサルスポーツで有名なのはボッチャやモルックなどですが、もちろんそれだけではなく、さまざまな種類があります。またユニバーサルスポーツの定義としては、以下のようなものがあげられます。

1. ルールに柔軟性があり、さまざまな人の参加が可能であること
2. 勝ち負けがあるスポーツの場合、誰にでも勝つチャンスがあること
3. ルールがシンプルで誰もが理解しやすいこと
4. 身体的な負担が少なく、安全性が確保されていること

この秋、学校や公民館、サロンなどで、大人も子どもも関係なく、みんなで一緒に楽しめるユニバーサルスポーツを体験してみませんか？

～ユニバーサルスポーツ用具の貸し出しについて～

社協ホームページ「各種申請書」から「ユニバーサルスポーツ用具利用申請書」をダウンロードし、必要事項を記載の上、益田市社会福祉協議会に申請してください。また、用具が各1セットしかないので、申請前に貸し出しが可能か早めにお問合せをお願いします。(Tel 22-7256)



社協で貸し出し しています！

※ 全て1セットずつとなります。

1 スカットボール



マットの上にスカット台を乗せて、ボールをスタートラインからスティックで打ち、台の得点穴に入れて点数を競うゲームです。台が斜めに傾いているため、意外と穴に入れるのが難しいです。

2 釣りっこ

文字どおり魚を釣り上げるゲームです。床から少し浮くようになっており、その隙間を狙ってフックをかけて釣り上げます。



3 スカイクロス

スカイクロスは、布製のリングをコーンに向けて投げ、得点を競う輪投げとゴルフをミックスさせた競技です。その他色々な遊び方があり、2名〜何名でも楽しめます。



4 ディスゲッター



5 ビーンボーリング



あらかじめセットしてあるピンをめがけてボールを投げ、ピンを回転させて得点を競うゲームです。投球のコントロールやバランスが決め手となります。

当たってもケガをしないフライングディスクでの的抜きゲームを楽しめます。決まった数のディスクを投げ、最大何枚のパネルを抜けるか競うストラックアウトや、ビンゴゲーム、抜いたパネルの合計ポイントを競うポイントディスクゲッター等、遊び方も色々。

6 公式ワナゲ



1チーム1〜9人×チーム数で対戦。1人が1回に連続9本の輪を投げ、数字の合計を得点とします。縦横斜めに3つ並んで入った時や、全部の棒に入った時にはボーナス点が加算されます。単純だけど奥の深いゲームです。

7 羽根っこゲーム干支セトラ

羽根っこゲームは、干支が描かれているシートに、重りのついた羽根をアンダースローで投げ、点数を競うゲームです。数字カードが別にあるため、好きな干支に好きな点数をつけることができます。自由度が高いゲームのため、ルールを自分たちで好きに作って楽しめます。



じぶんの町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金



10月1日（土）から、赤い羽根共同募金運動が始まります。

令和4年度
目標額

一般募金目標額

14,000,000円

歳末たすけあい募金目標額

4,786,000円

共同募金運動は、毎年10月1日から赤い羽根をシンボルとして、全国一斉に始まる募金運動です。集まった募金の内、約70%は、益田市を良くするしくみのために使われています。また残りの約30%は、島根県内の広域的な課題を解決するための活動に使われます。

その他、島根県共同募金会では、募金額の一部を『災害等準備金』として積み立てています。これは大規模災害が起きた際に、災害ボランティア活動などの被災地支援に役立てられています。

共同募金の趣旨をご理解いただき、今年度もご協力をお願いいたします。



令和4年Ver.
新バッジ登場!!

赤い羽根データベース

はねっと



募金がどのように使われているか気になりますか？はねっとでは募金の使いみちが確認できますので、こちらもぜひご覧ください。



赤い羽根共同募金の自動販売機

赤い羽根が描かれた自動販売機を見たことがありますか？益田市にはキヤや各店舗、益田市立高齢者福祉センター七尾苑、特別養護老人ホームますだハイツ、ラポール宝生苑、株式会社 技研設備と益田市総合福祉センターの11箇所に赤い羽根共同募金の自動販売機が設置されています。

この自販機は売り上げの1%を赤い羽根共同募金に寄付するしくみとなっています。皆さんがお茶やジュースを購入してくださったことが、こうして誰かの助けになっています。

どこかで赤い羽根の自動販売機を見かけたら、益田市の地域福祉のために役立っていることをぜひ思い出してあげてください。



あなたに身近な
島根の社協
活動情報発信サイト



ふくっち

しまねの社協が
そこにある!



島根県内には20の社会福祉協議会があるのをご存知ですか？（県と19市町村）それぞれの土地で、それぞれの社協は、県民の皆様がしあわせに暮らすためのお手伝いをしています。

社協がどんな活動をしているのかを、もっと皆さんに知ってほしくて、この度、県内の全部の社協が集まって「しまねの社協がそこにある！（「しまそこ」って呼んでくださいね）」というウェブサイトを立てました。

今後、各地の社協の取り組みなど、様々な情報が掲載されていきますので、皆さんもぜひチェックしてみてくださいね！

10月の福祉公開講座

福祉公開講座は3密を避け、換気などをきちんと行いながら開催しています。

ひとつからでも受講できますので、お気軽にご参加ください。

4日（火）

13:30～15:00

知っておきたい！成年後見制度

～安心な暮らしを守る～

18日（火）

13:30～15:00

ゲートキーパーを知っていますか？

～命の門番～

※ゲートキーパーとは、自死のリスクを抱えるほど悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守ることができる人のことをいいます。

申込・問合せ先：0856-22-7256 益田市社会福祉協議会



匹見無料法律相談のご案内

10/17

(月)

場所：益田市社会福祉協議会匹見支所

担当：おとよし法律事務所

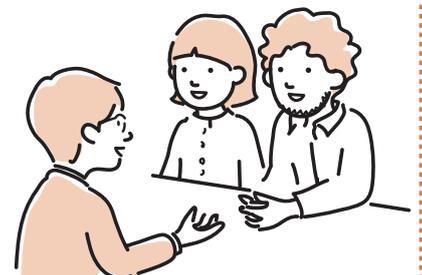
田中 秀樹 弁護士

13:00～15:00

※ 相談には予約が必要です。詳細は下記までお問い合わせください。

益田市社会福祉協議会 匹見支所 TEL:56-0374

または 益田市社会福祉協議会 TEL:22-7256まで



そのままにしている心配事はありませんか？

公証役場は国の機関です。秘密は厳守されます。

公証人による 無料相談会

相談担当： 浜田公証役場 たきむら つよし 瀧村 剛 公証人

※ 先着順となりますので、事前にご予約ください。

日時 11月18日(金) 10時00分～16時00分

場所 益田市総合福祉センター (益田市須子町3-1)

**お問合せ
ご予約** 益田市社会福祉協議会 TEL: 0856-22-7256 FAX: 0856-23-4177

養育費の支払い

金銭・土地・建物など
貸し借りのトラブル



子どもたちの
相続争い

老後の不安

任意後見

あんしん生活支援センター

ふれあい福祉相談のご案内 10月

どんなことでも、まずはご相談ください。
いっしょに考え、解決へのお手伝いをいたします。



相談	開催日	時間
無料法律相談	10月14日(金)	13:00～15:00
ふれあい福祉相談	10月14日(金)	10:00～15:00
老人・ひとり親相談	10月14日(金)・28日(金)	10:00～15:00

※ 無料法律相談担当弁護士：10月 羽柴 貴宏弁護士 (都合により変更になる場合もあります)

お問合せ
ご予約

あんしん生活支援センター(益田市社会福祉協議会)

フリーダイヤル：0120-062-301 / TEL：22-7256 / FAX：23-4177 (月～金 8:30～17:30)

善意の輪

(令和4年6月1日～令和4年7月31日)

敬称略

ご寄附ありがとうございます。地域福祉活動
事業費や、福祉基金積立の原資として、大切に
活用させていただきます。

【香典返し】

(故) 島地 俊貴 幸町 金一封

原 久美子 美濃地町 金一封

(故) 藤岡 茂弥 戸田町 金一封

(故) 秋田 孜 白上町 金一封

(故) 三好 綾子 匹見町道川 金一封

(故) 小野 米子 中島町 金一封

坂本 淳子 高津一丁目 金一封

大谷 悦生 匹見町紙祖 金一封

篠原 邦夫 桂平町 金一封

田中 裕司 西平原町 金一封

美都 山本おたのしみ会で福祉出前講座



山本おたのしみ会さんに、社協の福祉出前講座『車いす体験』と『アイマスク体験』の申し込みをしていただきました。

『車いす体験』では、車いすの種類や操作する際の注意点を学んだあとに、実際に車いすを使って介助の方法を学んだり、乗っている人の気持ちを確認したりしました。『アイマスク体験』では、視覚障害のある方が使用している様々な道具を用いて、その目的や使い方を学びました。

参加者からは「実際に使ってみないとわからないね」、「知らないことがたくさんあった、とても良いお話だった」など、たくさん感想をいただきました。大変ありがとうございました。

(美都圏域生活支援コーディネーター：田村)

匹見 「空き家出前講座」匹見地域ケア会議勉強会

7月19日(火)、匹見地域包括支援センターが、益田市建築課・連携のまちづくり推進課の「空き家出前講座」を開催しました。介護・医療等の専門職と生活支援体制整備事業 第2層協議体の地域住民21名が、益田市の空き家対策、空き家バンク制度、住まいの終活について学びました。

匹見地域においても空き家の増加は大きな課題となっています。このことを高齢者福祉の地域課題として捉え、空き家になる前に家の将来を考え家族で話し合うことが大切であることを広く周知し、今後の取り組みを進めていきたいと思えます。

(匹見支所：西川)



美都 老人クラブ合歓の会 地域交流活動

梅の実が落ちてきて
ビックリ!!



ここに大きい
梅があるよ～

今年度第4回目となる、合歓の会と東仙道保育所との交流活動にお邪魔しました。

合歓の会から5名が参加した今回は、毎年恒例、東仙道地区の石川さんのご厚意で梅の収穫体験。園児たちは、会員の方や先生方に手伝ってもらいながら、抱えきれないほどのたくさんの梅を収穫しました。

会員さんたちは梅の収穫のお手伝いだけでなく、園児たちがケガをしないようにそっと手を添えたり、どの子もまんべんなく収穫できているかなど注意深くお世話をしておられ、子どもたちだけでなく、会員さんの笑顔もとても輝いていました。

(美都圏域生活支援コーディネーター：田村)

北仙道 手作りロケットを打ち上げよう！



8月6日(土)、北仙道公民館で『北仙道 kita no-ma “夏” 特別企画 宇宙のお話とモデルロケットづくり!』が開催されました。

NPO法人 日本モデルロケット協会の大島講師からまず宇宙の話聞いたあと、さっそくロケットづくりがスタート。作業工程が多く、本物の火薬も(ロケットがほぼ出来上がってからはありますが)取り付けるため、小さい子どもには少しハードルが高かったかもしれませんが、大人の手を借りつつ、みんなきちんと完成させていました。

作っている途中に激しく降りだした雨もロケットを飛ばす頃にはすっかりとやんで、子どもたちが作ったロケットはひとつも失敗することなく、広い空へと向かって打ち上げられていきました。

(東部圏域生活支援コーディネーター：河上)



鎌手 大谷海岸でSUP体験

7月29日(金)、鎌手の大谷海岸に、鎌手児童クラブに通う15人の子どもたちの元気な姿がありました。

鎌手自治組織のひとつ「魅力づくり部会」会員指導の元、SUP(サップ)に挑戦するために集まった子どもたちは、最初はおっかなびっくりだったものの、次第にパドル操作にも慣れ、遊泳区域の波の上をボードに乗ってスイスイと行きかっていた。

行動制限がない夏休みといっても、なかなか遠方にてかけることは難しい状況の中、鎌手児童クラブや魅力づくり部会の大人たちから贈られたこの一日は、子どもたちにとって楽しい夏の思い出のひとつになったことでしょう。

皆さんも来年はぜひ鎌手の海に遊びにきてくださいね。

(東部圏域生活支援コーディネーター：河上)

SUP
Stand Up Paddleboard
(スタンドアップパドルボード)

